

医師事務作業補助者コース

医師事務作業補助者は医師不足の問題が頻繁に取り上げられる急性期医療の中で、病院勤務医の過剰な労働環境の改善、また医療専門職が本来業務に専念する意味において、医師業務を補助する職種として配置されました。

診療に関わる一定の専門的な教育を受けた医師事務作業補助者は、医師の指示に基づき各種診断書の事務処理が認められる事務職として、社会的な期待も大きくなっています。

■研修内容

研修の内容は以下の項目に係る基礎知識を習得します。

- ①医師法、医療法、医薬品医療機器法、健康保険法等の関連法規の概要
- ②個人情報の保護に関する事項
- ③当該医療機関で提供される一般的な医療内容及び各配置部門における医療内容や用語等
- ④診療録等の記載・管理及び代筆、代行入力
- ⑤電子カルテシステム（オーダリングシステムを含む）

■研修時間

オンライン研修32時間（e-ラーニング）

■対象者

医師事務作業補助業務に就いている者
医師事務作業補助業務に就く予定や希望のある者

■受講料

30,000円（税込）

■受講期間

ID・パスワード発行後、最大45日間

■募集開始

2023年4月より随時受付

2023年4月にコースをリニューアル！

32時間、完全e-ラーニングで
さらに受講しやすくなります。

どなたでもお申込み可能

Web申込・入金完了後に、すぐに受講を開始！

受講期間は最大45日、

履修完了を確認後に即修了証を発行します。

※診療情報管理士認定者・日本病院会診療情報管理士通信教育の修了生は、基礎知識を習得するための研修は受講済みとして、所定の申請により、基礎知識研修修了証明書を発行されます。

注)医師事務作業補助体制加算の取得には、①基礎知識習得と②新たに医師事務作業補助者を配置してから6か月間、業務内容についての研修の実施が必要です。この案内は、基礎知識研修の修了証明のみとなり、業務内容についての研修は、施設での実施となります。

なお、診療情報管理士有資格者でも対象外となる場合があります。詳細は事務局までお問合せください。

本コース修了者は約21,000人。
日本病院会人材育成50年の信頼と実績で多くの病院に選ばれています。

医師事務作業補助者を配置する際に必要となる32時間の指定された教育内容に準拠、施設基準の条件を満たしたカリキュラムです。



日本病院会の病院職員研修

診療情報管理士通信教育

D P Cコース

腫瘍学分類コース

医師事務作業補助者コース



診療情報管理士通信教育

診療情報管理士とは、医療機関における患者の診療情報を中心に、人の健康に関する情報を国際統計分類等に基づいて収集・管理し、データベースを抽出・加工・分析し、さまざまなニーズに適した情報を提供する専門職種です。

その知識は、疾病分類以外にも、病院機能評価への関与、診療報酬支払制度、がん登録、医療事故調査制度など、院内の幅広い分野で活用されています。

■カリキュラム

日本病院会診療情報管理士教育委員会が、よりふさわしい教育を目指して改訂、改善を重ねてきたカリキュラムと教材で学びます。

基礎課程（12科目）

①医療概論、②人体構造・機能論、③外傷学、先天異常等含む、④感染症および寄生虫症、⑤新生物、⑥血液・代謝・内分泌等、⑦精神・脳神経・感覚器系等、⑧循環器・呼吸器系、⑨消化器・泌尿器系、⑩周産期系、⑪皮膚・筋骨格系等、⑫医学・医療用語

専門課程（12科目）

①医療管理総論、②病院管理、③医療保険・介護保険制度、④医療安全・医療の質管理、⑤保健医療情報学、⑥統計理論、⑦病院統計・疾病統計、⑧法令・諸規則、⑨診療情報管理士の実務、⑩D P C・医師事務作業補助者・がん登録の実務、⑪国際統計分類Ⅰ、⑫国際統計分類Ⅱ

■受講資格

原則として2年制以上の短期大学または専門学校卒以上の学歴を有する者。

ただし、現在、病院に勤務している者は、当分の間、高卒者でもよい。

専門課程への編入資格（基礎課程の受講免除）

医師、歯科医師、看護師（保健師、助産師）※、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、言語聴覚士、歯科衛生士、歯科技工士、臨床工学技士、義肢装具士、救急救命士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師のいずれかの日本国の免許を有する者 ※准看護師を除く。

■修業期間

基礎課程1年、専門課程1年で計2年。

■受講料

2年間 220,000円（税込） ※専門課程編入は110,000円

■募集時期（受講者選考・審査有）

毎年4月、10月

e-ラーニングで、いつでも、どこでも、自分のペースで学習が可能です。

2年間で、基礎医学、医療機関に関わる基本的な知識を学ぶことができます。

知識と情報を活用し、病院に貢献できる人材育成を目指しています。

※診療情報管理士通信教育修了者は、日本病院会が実施する診療情報管理士認定試験を受験することができます。（年1回実施）

※診療情報管理士は、四病院団体協議会（日本病院会、全日本病院協会、日本医療法人協会、日本精神科病院協会）および医療研修推進財団が認定する資格です。

D P Cコース

病院におけるDPCの専門的な技術者を養成するためのコースです。コーディング技術、データベースの構築方法、データ分析等、具体的な手法を学習します。

充実した講師陣が、DPCの基礎からデータ分析までを実践的な視点で講義します。

■カリキュラム

- ①診断群分類の基礎（DPC制度、診断群分類のしくみ）
- ②診断群分類の実務（診療情報管理、コーディング、精度管理、実務）
- ③診断群分類を活用した分析Ⅰ・Ⅱ（データ分析）

■スクーリング

オンラインで実施

■対象者

診療情報管理士の認定を有する者

日本病院会「診療情報管理士通信教育」の修了者および受講者*

指定大学・指定専門学校で所定の単位を履修した卒業生および履修中の者*

*診療情報管理士の認定をもって本コースを認定とする。

■受講料

30,000円（税込）

■募集

時期や詳細は診療情報管理士通信教育Webサイトでお知らせします。

腫瘍学分類コース

腫瘍に対する幅広い知識を有する人材を育成するためのコースです。

各分野の腫瘍について医師が詳しく講義、またデータの抽出・活用について専門的に学習できます。

■カリキュラム

- ①腫瘍学総論 新生物の分類とがん登録
- ②ICD-10と病期分類（UICC、規約）
- ③各臓器、腫瘍の各論（治療、病理）
消化器（頭頸部）（食道・胃・大腸）（肝・胆・膵）、呼吸器、骨・軟部組織、血液・造血器、乳房・女性生殖器、男性生殖器（前立腺・膀胱）
- ④がん登録に沿った診療記録の読み方、情報の抽出、演習
- ⑤データ活用

■スクーリング

オンラインで実施

■対象者

診療情報管理士の認定を有する者

■受講料

50,000円（税込）

■募集

時期や詳細は診療情報管理士通信教育Webサイトでお知らせします。